



あきのおたのしみ



『どんぐりくりくりおともだち』

すとう あさえ／ぶん 林 なつこ／え
ほるぷ出版（2024）

どんぐりのかっちゃんとしいちゃんとくうちゃんはおともだちです。でんしゃごっこや、はっぱのぶらんこであそびます。ところがころがってしまったひょうしにくうちゃんのぼうしがなくなってしまいました。みんなでぼうしをさがしだして、またあそぼうねとおわかれです。

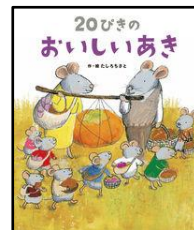


『20 ぴきのおいしいあき』

たしろ ちさと／作・絵
ひかりのくに（2023）



にんげんのいえのゆかしたで、おとうさんねずみとおかあさんねずみ、こねずみたちがなかよくくらしています。きょうは、みんなであきのおいしいものをさがしにいきましょう。くり、どんぐり、やまぶどう！あきのごちそうがたっぷり。なにをつくろうかな？



『もみじのてがみ』

きくち ちき／作・絵
小峰書店（2018）



むこうのやまから、つぐみがもみじのてがみをどけてくれました。そこでねずみは、やまにあかいもみじをさがしにいきました。けれど、あったとおもったら「きのこ」。あれだ、とおもったら「つばき」。いちめんのまっかなもみじをみつけることができるでしょうか。



『まんげつのよるのやくそく』

エリック・ローマン／作 長友 恵子／訳
朔北社（2023）

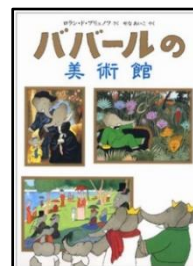
としをとったいぬのエラは、まんげつのよる、ガスにやくそくをしてたびだちました。ガスはかなしみでなにもできなくなりました。そしてハロウィーンのひ、ガスはガイコツにかこまれてしまいます。そのとき、ほねの犬になったエラが、やくそくを守りにやってきました。



『ババールの美術館』

ロラン・ド・ブリュノフ／作 せな あいこ／訳
評論社（2005）

ぞうのババールとおくさんのセレストは、つかわれていないえきを美術館にすることをおもいつきました。建物^{たてもの}をなおし、ババールのお城^{しろ}にある美術品^{びじゅつひん}をはこびます。まちにまった美術館があきました。たくさんの絵^えがならんでいます。さあ、自由^{じゆう}に感じるまま、好き^すにみていきましょう。



『なしとりきょうだい』

かんざわ としこ／ぶん えんどう てるよ／え
ポプラ社（1967）

むかし、びょうきのおかあさんと、三にんのおとこのこがすんでいました。あるひ、おかあさんのために、たろうとじろうがやまなしをとり^とりにでかけましたが、ふたりともかえってきません。さいごにでかけたさぶろうは、山のなかでばあさまにいました。さぶろうはぶじにやまなしをおかあさんにたべてもらうことができるのでしょうか。

